

職場の心理的安全性向上プロジェクト

株式会社アウラ

<https://www.aula-mr.jp/>

様々な環境で働く人々の心の健康に“ポジティブな予防”を目指す。臨床経験豊かな心の専門家による実効性の高い専門的支援です。

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴					
北海道	東北	関東	甲信越	<p>この「職場の心理的安全性向上プロジェクト」は、職場の心理的安全性を高めて「ポジティブな予防」を実現する具体的支援サービスです。企業規模に応じたカスタマイズにより『企業ごとの最適解』を提供し、離職防止や人材定着と将来的な成長戦略に取り組みます。</p> <p>まず、企業のニーズや課題を見える化し、法制度対応上のリスクをアセスメントします。特に〔ストレスチェックの取り組み〕は、公認心理師が共同実施者として産業医と連携して行い、個々のストレス要因を明確にし、集団分析により管理者層に具体的な助言を行うことで、不調の早期発見と対応・職場環境の改善を図ります。更に、臨床心理士による〔戦略的な個人面接〕を行うことで、アブゼンティーズムやプレゼンティーズムの改善が期待できるのみならず、キャリアパスやワーク・エンゲージメントの向上を支援します。</p> <p>従業員のヘルスリテラシーと意識を向上させ、心理的安全性を高めるために〔研修〕も重要です。ストレス耐性やハラスメント対策など多彩なテーマで行います。</p> <p>このプロジェクトは規模や業種を問わず、健康経営の観点からも柔軟かつ適切に職場環境の快適化に取り組みます。</p>					
北陸	東海	近畿	中国						
四国	九州	沖縄	海外						
提供可能法人規模(◎:実績あり、○:提供可)				サービスの目的・期待される効果					
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上	<p>【凡例】◎:実証評価>●:理論的裏付け>○:ユーザー評価</p>					
◎	◎	○	—	<p>基盤整備</p> <p>法制度対応 ○</p> <p>制度・施策体系の整理 ○</p> <p>人事・産業保健業務の効率化・負担減 ○</p> <p>組織状況の把握 ○</p>					
<p>取組の普及・浸透</p> <p>サーベイ受検率向上 —</p> <p>相談窓口の利用率・認知率向上 ○</p> <p>プログラムへの参加率・利用率向上 ○</p> <p>不調の早期発見・対応 ○</p> <p>ヘルスリテラシー・意識向上 ○</p> <p>仕事のストレス要因低減 ○</p> <p>心理的安全性・上司のサポート力向上 ○</p> <p>周囲のサポート力向上 ○</p>				<p>導入企業の評価</p> <p>【社福 千代田区社会福祉協議会】社会福祉／約70人／2025年4月～この数年、退職者の多さ・パフォーマンスの低さが気になるも、原因や改善方法がわからなかったが、プロジェクト導入後わずか3か月ほどで、潜在化していた課題（法制度への対応や、ストレスチェック実施体制、復職支援プログラムの未整備等）に気づかされ対策を進めている。心理的安全性の向上は〔ストレスチェックの共同実施者〕としての支援によっても実感する。集団分析の結果説明では、上司のサポート力向上や周囲のサポート力向上につながる具体的で現実的な助言を受けた。</p> <p>個別支援の面談では、不調者への具体的対応やアブゼンティーズム・プレゼンティーズムの改善に関する助言は、管理者層の大きなサポートとなった。次年度〔臨床心理士の個人面接〕を全職員対象とすべく、予算計上の予定である。</p> <p>【弁護士法人リブラ共同法律事務所】専門サービス／約20人／2025年5月～</p> <p>ハラスメント問題に発展しかねない現状があったが、プロジェクト導入後、個人面談による当該者たちのアセスメントや、職場における物理的環境改善提案、経営層に対する具体的な支援により、事案が解決した。</p>					
				<p>心の健康・業務パフォーマンス</p> <p>生活習慣の改善 —</p> <p>健康状態・心理指標改善 —</p> <p>アブゼンティーズム改善 ○</p> <p>プレゼンティーズム改善 ○</p> <p>ワーク・エンゲージメント向上 ○</p> <p>従業員エンゲージメント向上 ○</p> <p>労務指標改善（離職率、残業時間等） —</p>					
								—	
								○	
								○	
								—	

職場の心理的安全性向上プロジェクト

株式会社アウラ<https://www.aula-mr.jp/>

理論的裏付け

採用している理論の概要

なし

実証評価

学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介入しない独自の効果検証

エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対
照研究

実証評価の結果概要

なし